

参加チーム 各位

2021年5月27日
(一社)大阪府サッカー協会
フットサル委員会

第17回全日本大学フットサル大会 大阪大会

大会実施要項

記

大会名称	第17回全日本大学フットサル大会 大阪大会
日 程	1 回 戦 : 6月12日(土) 準 決 勝 : 6月27日(日) 決 勝 : 7月4日(日)
会 場	1回戦 : マグフットサルスタジアム 準決勝 : マグフットサルスタジアム 決 勝 : 大阪市立千島体育館
主 催	公益財団法人 日本サッカー協会
主 管	一般社団法人 大阪府サッカー協会
協 力	一般財団法人 日本フットサル連盟 大阪府フットサル連盟
参加資格	(1) 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「JFA」とする。)に「フットサル1種」または「サッカー1種」の種別で加盟登録したチーム(準加盟チームを含む)に所属している選手により、本大会のために構成されたチームであること。 (2) 第1項のチームに所属する単一の大学(大学院生を含む)・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。 (3) 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。 (4) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は他のチームで参加していないこと。役員は本大阪大会において、他のチームで登録されていないこと。 (5) 成人で、チームおよびチーム関係者の行動を掌握できる、引率者がいること。 (6) チームまたは個人でスポーツ傷害保険に加入していること。
参加チーム数	6チーム
大会形式	(1) ノックアウト方式で行う。(3位決定戦は行わない)
競技規則	大会実施年度の「フットサル競技規則」による。

競技会規定

以下の項目については、本大会で規定する。

- (1) ピッチは原則として 40m×20mとし、ボールはフットサル 4 号球を使用する。
- (2) 競技者の数…競技者：5 名

交代要員：9 名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2 名以内

- (3) チーム役員の数：3 名以内

- (4) 競技者の用具

① ユニフォーム

(ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を大会登録票に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。ゴールキーパーがトラウザーズを着用する場合、登録されたショーツと同一の色彩でなければならない。また、貼り番号を認めるが、注意事項に記載の内容に沿うものでなければならない。

(イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が着用する黒色と明確に判別しうるものでなければならない(黒色・紺色は認められない)。

(ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(エ) シャツの前面、背面に大会登録票に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

(オ) 選手番号は 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーがつけることとする。必ず、本大会の大会登録票に記載された選手固有の番号を付けること。

(カ) ユニフォームへの広告表示については、JFA の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

② 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面がフラットで飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。

(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

③ ビブス

交代要員は、競技者のシャツと異なる色のビブスを全員分用意すること。

試合時間

[1 回戦、準決勝、決勝]

40 分間 (前後半各 20 分間) のプレーイングタイムとし、
ハーフタイムのインターバルは 10 分間 (前半終了から後半開始まで) とする。

勝者の決定

試合時間内に勝敗が決しなかった場合、試合の勝者は以下の方法で決定する。

[1 回戦、準決勝]

PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

[決勝]

10 分間 (前後半各 5 分間) の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を

決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とし、延長戦のハーフタイムはなしとする。PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

懲罰

懲罰規程として以下の点を定める。

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (2) 本大会において退席を命じられた役員は、自動的に本大会の次の 1 試合にベンチ入りできない。それ以後の処置については、本大会規律・フェアプレー委員会で決定する。
- (3) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、勝ち上がった場合は次の大会に引き継ぐものとする。本大会にて敗退した場合、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) 片方のチームが試合開始時に 3 人未満の場合は、0-5 の不戦敗とする。
- (6) 試合途中で片方のチームが 3 人未満になった場合や、その他の理由で試合が打ち切りとなった場合は 0-5、もしくは打ち切りとなった時点で 0-5 以上の点差がついていた場合はその結果とする。
- (7) 関西および全国大会を含めた本大会において、会場使用規程の遵守の不徹底や、大会運営に支障をきたすチームについては、次年度本大会への参加を認めない場合がある。

注意事項

注意事項として以下の点を定める。

- (1) 6/12(土)第 1 試合のチームは、11 時 30 分に会場に到着し会場準備を行うこと。
6/27(日)第 1 試合のチームは、12 時 30 分に会場に到着し会場準備を行うこと。
また、最終試合のチームは会場撤収を行うこと (7/4 は両チームにて設営)。
- (2) マッチコーディネーションズミーティング (以下、MCM) を大会運営本部または大会運営委員会指定の場所でキックオフの 1 時間前に行う。その際、①選手証 (学生証)、②試合毎のメンバー登録用紙 (ユニフォーム欄、監督署名欄は空白)、③正副のユニフォーム (FP、GK2 セットずつ、合計 4 種類)、④交代要員が着用するビブス、を持参すること。メンバー登録用紙は大会ホームページよりダウンロードして各チームが持参すること。
- (3) ユニフォームに広告を掲示している場合は、JFA から発行された回答書および申請書を携帯すること。
- (4) ユニフォームに貼り番号をする場合は、キックオフまでに大会運営本部で確認をとること。番号は整数の 1 から 99 を使用し、0 は認めない。布貼りの場合は 4 辺を全て縫い付け、大会本部で許可を得たもののみ認められる。使用する布地は白色またはユニフォームの貼り付け部分の主たる色と同色とし、番号は見えるようにはっきりと、JFA ユニフォーム規程の大きさの数字で記入すること。認められないユニフォームの表示を覆い隠す場合も同様に布貼りとするが、ユニフォームの主たる色と同色または白色に限る。また、テーピング等での番号表記は認められない。
- (5) 主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チームの立ち会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (6) 前項の場合、主審は、両チームの各 2 組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定す

ることができる。

- (7) 別紙スケジュールに従い、帯同審判員 1 名を派遣すること。決勝はボールパーソン 2 名を派遣すること。決勝戦進出のチームは帯同審判員 1 名を派遣すること。決勝はボールパーソン 2 名を派遣すること。決勝戦進出チームは同日同じ会場にて開催される全日本女子フットサル選手権の試合に帯同審判員 1 名およびボールパーソン 2 名を派遣すること。また、帯同審判員の所属は必ず大阪府でなければならない。帯同審判員割当は、対戦表の左側のチームが第 3 審判、右側のチームがタイムキーパーとする。審判員証[電子登録証も可]を必ず持参すること。顔写真が登録されていないものは不可とする。
- (8) 試合中に飲めるのは水のみとする。その他の飲料はフロア近辺に持ち込まないこと（観客席に置いておくこと）。飲水場所は体育館等の施設の使用規定に従うこと。
- (9) 試合中はチーム関係者によるピッチレベルでの写真および映像の撮影を認めない。チームの集合写真も不可とする。
- (10) ベンチでの氷のう袋の使用を認める。ただし、ビニール袋など水滴が周りに漏れるものは、飲水場所での使用のみとする。また、その使用により床やシートを濡らした場合は会場のモップを使用せず自チームで用意したタオル等で拭き取ること。
- (11) ゴミは各チームで必ず持ち帰ること、また体育館等の施設の使用規定に従うこと。
- (12) 本大会は無観客試合とする。ただし大会登録票に記載のある選手、役員の入場を認めるが、各会場での待機場所等は大会役員の指示に従うこと。
- (13) 感染対策ガイドラインを遵守すること。
- (14) ビデオ撮影は大会登録票に記載のある選手、役員のみ認めるが、SNS 等への投稿や公開は認められない。また撮影できるのは自チームの試合のみで、他の試合の撮影は行わないこと。

その他

- (1) 優勝チームと準優勝チームを表彰する。
- (2) 本大会の結果、1 位のチームは、8 月 27 日～29 日に岸和田市総合体育館にて開催される第 17 回全日本大学フットサル大会に出場する義務を有する。
- (3) 本大会の結果、2 位のチームは、7 月 22 日に YMIT アリーナにて開催される第 17 回全日本大学フットサル大会関西大会に出場する義務を有する。
- (4) 本大会の結果、1 位のチームは 8 月の全国大会本大会前日の設営準備を行うこと。
- (5) 本大会参加チームは、8 月 27 日～29 日に開催される全国大会の運営にチームより人員を派遣し、大会運営に協力すること。
- (6) 代表者会議以降の大会登録票の選手や役員の追加や変更等は認めない。

お問合せ先

(一社)大阪府サッカー協会 フットサル委員会大会事務局

メールアドレス：jimu@ofa-futsal.jp

※各種お問合せはメールにてのみ受け付ける。

肖像権に関する取扱いについて

2021年2月5日 改定

一般社団法人大阪府サッカー協会（以下「OFA」という）は、OFAが主催する大会及びイベントに参加または関与する競技者、指導者、審判員その他の関係者の肖像権の取り扱いに関し、以下の通り対応するものとする。

1、肖像権に関する取り扱い

OFAが主催する大会及びイベントに参加または関与する競技者、指導者、審判員その他の関係者の肖像権は以下のとおり取り扱われるものとし、OFAは大会要項その他において以下の趣旨を記載して、周知するものとする。

（1）写真

- ① OFAで撮影した写真が、大会運営、広報活動及び販促活動のため、ホームページ、広報誌及びSNS等で使用されることがある。
- ② OFAに認められた企業、団体及び報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。
- ③ OFAに認められた提携写真事業者によって撮影された写真が、「参加者向け写真販売サービス（ウェブサイトを通じた通信販売を含む）」で使用されることがある。

（2）映像

- ① OFAで撮影した動画が、大会運営、広報活動及び販促活動のため、ホームページやSNS等で使用されることがある。
- ② OFAに認められた企業、団体及び報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

（3）競技者及び指導者等の承諾

競技者、その保護者（親権者）及び指導者は、参加チームが大会等に参加申込をしエントリーをした時点で、上記（1）（2）の取り扱いにつき承諾したものとする。名目の如何に問わず一切の対価を請求しない。

（4）その他関係者の承諾

審判員、大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、OFAと大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者は、上記（1）（2）の取り扱いにつき承諾をしたものとする。名目の如何に問わず一切の対価を請求しない。

2、OFAの対応

OFAは上記1（1）（2）の目的以外には写真、映像を使用しないことを徹底し、厳正なる管理のもとに保管する。

以上